

令和7年度の県図書館協会の活動を振り返って

令和7年度は、椋嶋十先生の生誕120周年に当たり、県内の多くの図書館で、先生の業績と想いを紹介する記念行事が行われました。先生は終戦直後に県立図書館長に就任され、命の尊さと平和への想いを胸に、県内図書館の発展に尽力されました。県図書館協会では、先生の思いを引き継ぎ、読書環境の整備と利用サービスの向上を目指し、努力してまいります。

本年度の主な取組(主催及び共催)は以下の通りです。

- ・ 総会と研修会開催(5/8 県立図書館)令和6年度事業報告及び決算報告、令和7年度事業計画及び予算案承認後、参加者による研修実施。
- ・ 親子読書研修会(共催 6/29 カクイックス交流センター)椋嶋十生誕 120 周年記念大会として開催し、取組発表、講演会を実施。
- ・ 読書活動推進人材スキルアップ研修会(共催 8/27 南薩支部指宿市, 9/17 始良伊佐支部湧水町)両会場共に多くの参加者があり、熱気に溢れる開催となりました。
- ・ 県内公立図書館(室)長及び業務担当者会(10/6 担当熊毛支部中種子町)
- ・ 全国図書館大会派遣(10/30,31 愛媛県松山市)与論町立図書館より1名派遣。
- ・ 鹿児島県図書館大会(共催 11/19 カクイックス交流センター)「図書館のチカラ～ むすぶ～」を大会テーマに開催。各種表彰に続き分科会(全6分科会)において事例発表と意見交換が行われ、最後に、幅允孝氏(有限会社 BACH(バッハ)代表・ブックディレクター)による講演「この時代に本を届けるということ」があり、「人と本をつなぐ」思いと実践的アイデアの数々が紹介されました。
- ・ 先進地視察研修(12/2,3 八代市立図書館, 熊本市立図書館)湧水町くりの図書館より1名派遣。
- ・ 「毎月 23 日はこどもといっしょに読書の日」ポスター原画審査会(1/14 県立図書館)

この一年、世界各地で紛争があり、平和が危機的状況に陥ってきました。「ペンは剣よりも強し」という言葉があります。平和で安心安全な社会を実現していくために、上質な知識に触れ知性を涵養する場と機会を提供することは、公共図書館の取り組むべき使命であり、存在意義でもあると確信しています。

また近年、人々の読書目的や読書スタイルは多様化してきました。特に、デジタル化への対応とともに、スキルアップと課題解決のための図書館利用を支援する必要性を強く感じます。これからも県図書館協会は、利用者の声に耳を傾けつつ、時代の変化に対応し、「県民の皆様と良質な知識をつなぐ」取組を行ってまいります。

令和8年3月

鹿児島県図書館協会副会長 井上佳朗(鹿児島市立図書館 館長)